

## 令和3年6月3日開催教育委員会会議記録

### 1 開会・閉会等について

開催日	令和3年6月3日（木）
場 所	教育委員会室
開 会	午後3時00分
閉 会	午後3時45分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	阿 部 博 道
委 員	坂 根 慶 子
委 員	浅 松 三 平
委 員	白 石 祐 一
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	青 木 剛
教育委員会事務局参事 (庶務課長事務取扱)	宮 本 知 幸
学 務 課 長	西 村 克 己
指 導 室 長	加 藤 康 弘
すみだ教育研究所長	宮 本 佳 代 子
地域教育支援課長	堀 啓 一
ひきふね図書館長	高 村 弘 晃

### 2 議題について

#### (1) 報告事項

- 第1 教育委員会関係議案の作成に伴う意見聴取について（資料1）
- 第2 墨田区議会正副議長の就任について（資料2）
- 第3 墨田区議会常任委員会及び議会運営委員会委員名簿、墨田区議会特別委員会委員名簿について（資料3）
- 第4 墨田区監査委員の就任について（資料4）
- 第5 PTA退任役員に対する感謝状の贈呈について（資料5）
- 第6 新型コロナウイルス感染症対策における教育施設等の対応について（資料6）

### 3 会議の概要について

- **教育長** それでは、本日の教育委員会を開会いたします。本日の会議録署名人は、浅松委員にお願いします。

#### 報告事項第1・・・資料番号【資料1-1～1-11】

「教育委員会関係議案の作成に伴う意見聴取について」、庶務課長が資料のとおり説明する。

- **教育長** ただいまの説明について、何かご質疑ございますか。
- **阿部委員** 資料1-10現行様式の、氏名の横に「印」とありますが、これまではここに押印をしていた、ということですね。
- **庶務課長** はい。
- **阿部委員** 改正後は、氏名の記入方法は署名でもパソコン等の入力でも良いということですか。
- **庶務課長** はい。
- **阿部委員** 署名ではない場合、本人が提出したものかどうかの確認が、難しくなると思います。また、現行の第2条の中には、署名についての記載がありますが、押印についての記載はありません。現行の場合も、押印をする必要はなかった、ということなののでしょうか。
- **庶務課長** 条例の中の「様式」には押印欄があり、押印していました。
- **阿部委員** 宣誓書以外にも、押印欄のある様式が多くあると思いますが、押印廃止の方向で進めているものはあるのでしょうか。
- **庶務課長** 全庁的に、押印欄がある様式を洗い出しているところです。押印の廃止に伴い、電子申請の推進、添付書類の削減やマイナンバーカードを活用した申請方法などを検討しています。適切な本人確認の方法についても、検討していく必要があります。
- **教育長** この報告は、墨田区教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則第3条に基づく、教育長の臨時代理による処理の報告ですから、委員会としての承認が必要となります。承認してよろしいでしょうか。  
(「異議なし」の声あり)
- **教育長** それでは、報告のとおり承認することにします。

#### 報告事項第2・・・資料番号【資料2-1】

#### 報告事項第3・・・資料番号【資料3-1～3-2】

#### 報告事項第4・・・資料番号【資料4-1】

「墨田区議会正副議長の就任について」「墨田区議会常任委員会及び議会運営委員会委員名簿、墨田区議会特別委員会委員名簿について」「墨田区監査委員の就任について」、一括して庶務課長が資料のとおり説明する。

- **教育長** ただいまの説明について、何かご質疑ございますか。
- **坂根委員** 資料3-2「ひきこもり対策特別委員会」は、どのような目的で設置したのでしょうか。
- **庶務課長** ひきこもり対策特別委員会は、昨年度から設置しており、対象は子どもから大人までと広く、福祉保健部や教育委員会事務局を中心に、どのような対策が必要か、議論をしています。

- **教育長** 議員の中には、不登校とひきこもりを混同している方もいるので、不登校とひきこもりはイコールではないことなど、具体的に例を出しながら説明し、議論しています。
- **坂根委員** ひきこもりと聞くと、子どもを対象にしていると捉える方が多いと思います。誤解のないように周知するということが大事かなと思っています。

#### 報告事項第5・・・資料番号【資料5-1～5-2】

「PTA退任役員に対する感謝状の贈呈について」、地域教育支援課長が資料のとおり説明する。

- **教育長** ただいまの説明について、何かご質疑ございますか。
- **浅松委員** 墨田区では、小学校は「PTA協議会」、中学校は「PTA連合会」と異なった名称ですが、活動内容は基本的に同じと考えて良いのでしょうか。
- **地域教育支援課長** 同じです。両方とも、各単位の学校のPTA会長が集まって組織されています。
- **坂根委員** ご尽力くださった方々への感謝状の贈呈は、大変意義のあることだと思います。資料5-1、5-2の「該当職歴」の中で、学校名が書いてある方とそうでない方がいらっしゃいます。学校名は全ての被贈呈者について記載いただきたいと思います。
- **地域教育支援課長** 次回から、改善します。
- **白石委員** ここ1年半ぐらい、PTA総会や懇談会の開催がなく、私たち教育委員は、PTA会長さんたちに会うことができていません。PTAの方と会う機会があれば、資料に学校名が書いていなくても、分かるのですが、顔も分からない方がいるのが現状です。例年の行事が中止や書面開催となっているので、できれば、何かしらのかたちで、PTAの方と教育委員が話せる機会をつくっていただきたいと思います。
- **教育長** コロナ禍以前、中学校のPTAの方から、懇親会をやりたいという意見があったのですが、小学校の方からは、参加を遠慮したい、という意見がありました。
- **白石委員** 小学校は4ブロック25校あるのですが、それぞれ温度差はあると思います。いろいろ事情はあると思うので、全員の意向を合わせなくても、来られる人が来る、ということでも良いのではないかと思います。ただ、懇親会を開催しても、目的がないまま話すだけではあまり意味がないので、議題を設定して参加者は事前に準備をし、当日有意義な意見交換ができるようにすべきです。私がPTA役員だったときは、事前に議題が決まっていると、原稿を用意する形式になり、活発な意見交換ができないと思っていたのですが、教育委員になってからは、議題を設定することで、有意義な意見交換ができると思うようになりました。
- **浅松委員** PTAが発行している広報紙に、写真付きの役員紹介があると良いと思いました。
- **地域教育支援課長** 中学校PTA連合会では、1年間の活動報告として、年度末に広報紙を発行しており、そこには各校のPTA会長の写真を掲載しています。また、各学校で作成している「学校だより」等で、PTA役員の紹介をしている場合が多いと思います。
- **白石委員** 広報紙発行の主目的は、保護者の方に活動を知ってもらいたいということですが、予算の問題から、現状より発行を増やすことは難しいかもしれません。
- **坂根委員** 以前、小学校PTA協議会の方と教育委員がグループディスカッションをした時に、PTAの方々から出た意見を総合教育会議の際に発言したことがあります。PTAの方々

は教育委員が意見を聞いてくれていたということを、喜んでいました。教育委員として、保護者の生の声を直接聞くことができる機会は大変貴重です。

- **阿部委員** ワクチン接種が進み、今年の暮れ頃になると大分状況が良くなるのではないかと期待しています。懇親会などで顔見知りになると、いろいろな話を聞くことができます。状況を見ながらということにはなりますが、まずは、忌憚なくお話をする機会をつくっていただけたらと思います。
- **教育長** 新型コロナウイルス感染症対策のため、学校を臨時休校としたときや、様々な施策を保護者の方に伝えるときなど、PTAの方々から、保護者の方の状況や意見などを教えていただきました。また、施策の趣旨を事前に伝えて理解していただき、保護者からの相談や質問に答えてもらったりなど、いろいろとご協力いただき、非常に助かりました。
- **浅松委員** コロナ禍の中で、PTA行事も例年のように実施できず、ご苦労されているのではないかと考えています。今、PTAはどのような状況なのでしょう。
- **地域教育支援課長** 新型コロナウイルス感染症対策のため、活動を自粛しており、今までどおりの活動ができていない状況です。例年の活動の代わりに何かできないかと検討し、例えば、子どもたちの夢を応援するイベントを開催したり、児童・生徒一人1台配布されたタブレット用のタッチペンを購入したりしているそうです。PTAの会長会に行くと、皆さん明るく、和気あいあいと、意見交換をしています。年内中の懇親会の実施については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から慎重に考えなければなりません。教育委員の方々が、懇親会の開催に積極的だったということは、伝えたいと思います。PTAの皆さんも喜ぶと思います。

#### 報告事項第6・・・資料番号【資料6-1】

「新型コロナウイルス感染症対策における教育施設等の対応について」、庶務課長が資料のとおり説明する。

- **教育長** ただいまの説明について、何かご質疑ございますか。まず、私の方から質問します。学校施設貸出について、他区の状況を教えてください。
- **庶務課長** 3分の2ぐらいは、貸出しを中止しています。区によって考え方がありますが、部活動を原則中止としているので、屋内施設の貸出しも中止している区が多いです。本区においては、学校の感染状況や区のスポーツ施設の貸出し状況等から、午後8時まで貸出しを行うという判断をしています。感染症対策については、改めてホームページで注意喚起しています。
- **教育長** この報告は、墨田区教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則第3条に基づく、教育長の臨時代理による処理の報告ですから、委員会としての承認が必要となります。承認してよろしいでしょうか。  
(「異議なし」の声あり)
- **教育長** それでは、報告のとおり承認することにします。以上で、本日の議事は全て終了しましたが、そのほかに、委員の皆さんまたは事務局から何かございますか。
- **坂根委員** 先日、全国学力・学習状況調査が無事に終わったと思います。新聞やインターネットでテスト問題を見たところ、なかなかよくできていると感心しました。例えば、総合的

な学習の中では、メールのやり取りについての問題がありましたが、そのメールの内容が国語の教科書の内容と比べ、自然な形の日本語で、いかにも中学生が使うような内容だったので良かったと思います。ただ、いくつか気になったこともありました。まず、「児童質問紙」「生徒質問紙」というアンケート調査についてです。小学生と中学生と全く同じ質問内容だったという点が気になりました。発達段階によって内容を変えた方が良いのではないかと思います。次に、その調査項目の中に、「あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか。」という質問がありましたが、回答は「いつも話している」「ほとんどいつも話している」「ときどき話す」「全く話さない」の4つがあり、これは外国語をどのくらい家で話しているかを調査する意図があるのかなと思ったのですが、ただ、中学生の場合は、そもそも家では全く話さないということもあると思うので、そのあたりのことを考慮されているのか気になりました。また、「授業では課題の解決に向けて自分で考えて、自分から取り組んでいたか」という質問がありましたが、これは学習指導要領の内容をそのまま抜き出したかのような質問ですが、調査結果が出たときに、十分分析できるのか疑問です。このような難しい質問が出た場合、子どもたちから先生に「どういう意味か」と質問があった場合には、どのように答えるか決まっているのですか。

- **すみだ教育研究所長** 決まっていません。また、現段階で、子どもたちから質問の解釈について聞かれた、という報告はありませんが、先生も子どもたちと同様に、事前に質問を見ることはできないので、その場で答えるのは困難だと思います。
- **坂根委員** 内容をどう捉えるかによって、回答が変わってきてしまうような質問だと、調査結果の分析に影響が出てしまうので、このような質問は改善した方が良いのではないかと思います。例えば、今回の調査で「家にどのくらい本があるか」という質問がありましたが、そこには、子どもたちがイメージしやすいように、「100冊はこの絵にかいてあるくらい」「500冊はこの絵にかいてあるくらい」などそれぞれ目安となる本棚の絵が描いてありました。このような工夫はとても良いと思いました。
- **教育長** ほかになければ、これで教育委員会を閉会します。